

添付文書用語の解説

Q. 添付文書に書かれている用語の意味を教えてください。

A. 添付文書に記載がある主な用語の解説

【あ行～か行】

- ・いちよう ちんつう ちんけいやく胃腸鎮痛鎮痙薬（いちようちんつうちんけいやく）
胃腸の異常な緊張をやわらげ、痛みを鎮める薬。
- ・おうと嘔吐（おうと）
吐くこと。
- ・おかん悪寒（おかん）
発熱のために生じるぞくぞくした寒気。
- ・おしん悪心（おしん）
吐き気をもよおすこと。むかつき。
- ・がいそう咳嗽（がいそう）
せき。
- ・かいようせいだいちようえん潰瘍性大腸炎（かいようせいだいちようえん）
大腸に見られる慢性の炎症性疾患で、下痢に伴う血便、粘便などの症状が認められる。
- ・かんしつせいはいえん間質性肺炎（かんしつせいはいえん）
肺の間質と呼ばれる肺胞壁や細気管支などの部位に炎症を生じ、息切れ、からせき、発熱などの症状があらわれ、進行すると死亡することもある。
- ・がんせいひろう眼精疲労（がんせいひろう）
目の疲れからくる頭痛、肩こり症状。
- ・ぎ偽アルドステロン症^{しょう}
甘草、またはグリチルリチン酸の大量服用によって発症し、尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛などの症状があらわれる。

- ・クローン病

原因不明の慢性炎症性腸疾患で、慢性の下痢を主症状とし腹痛、発熱、下痢、嘔吐、不快感、貧血などの症状が認められる。

- ・けっせんしょう血栓症（けっせんしょう）

血管を流れる血液が凝固したものを血栓という。脳動脈が血栓によって閉塞すると脳梗塞、冠動脈が閉塞すると心筋梗塞になる。

- ・こうじょうせんきのうこうしん甲状腺機能亢進（こうじょうせんきのうこうしん）

甲状腺において、ホルモンの合成と分泌が増加し、そのために甲状腺ホルモン過剰の症状が出現している状態。バセドウ氏病が原因となることが多くある。

- ・こう抗ヒスタミン剤ざい

くしゃみ、鼻みず、鼻づまり、かゆみを抑える薬。

- ・こつし骨歯の脆弱ぜいじやく

骨や歯がもろくなること。

- ・こんごうせいけつごうそしきびょう混合性結合組織病（こんごうせいけつごうそしきびょう）

膠原病の一つで、手の甲、指の腫れ、関節炎などの症状がありね女性に多く認められ、特定疾患（難病）に指定されている。